

市長との対話集会

財政状況と総合計画について ～安芸高田市の未来を語る～

2025年11月
安芸高田市

目 次

- 1 2024年度決算の概要
- 2 第3次安芸高田市総合計画
- 3 意見交換

2024年度決算の概要

財政とは

市は、さまざまな業務を行っています。
これらの業務を計画的に実施するために、

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| « 予 算 » | 使えるお金を見積り、使い道を決め、 |
| « 予算執行 » | 行政サービスを行い、 |
| « 決 算 » | 最終的にお金がどのくらい集まり、
どのように使われたかを確認する。 |

これを**財政**といいます。

言い換れば、**財政**は市政の土台となる仕組みです。

会計の種類

安芸高田市の会計は、
一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類です。

一番大きい会計は「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備など、まちづくりに必要なお金を管理する会計です。

次の会計は「特別会計」です。

それぞれのお金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別に管理しています。

最後の会計は「公営企業会計」です。

利用した人から料金をもらって事業を行っている会計です。

決算は黒字それとも赤字

黒字または赤字は、**実質収支**で判断します。

<2024年度普通会計決算>

歳入決算額

204億1,253万円

歳出決算額

198億9,278万円

実質収支

4億5,822万円

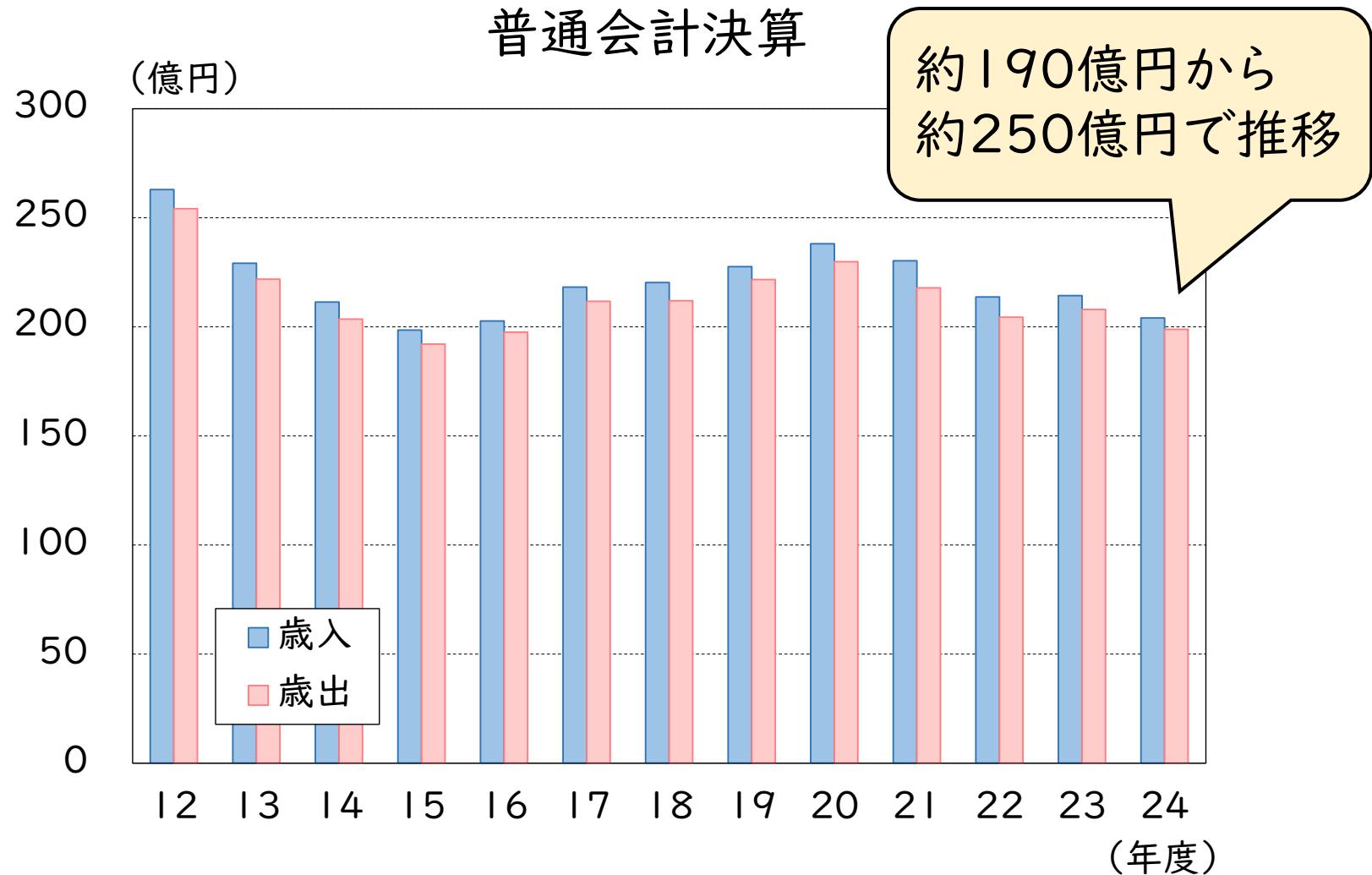
翌年度繰越財源 6,153万円

黒字

普通会計とは、総務省の定める基準で各地方公共団体の会計を統一的に再構成し、地方公共団体間の比較などをするための会計区分です。

<資料>安芸高田市「普通会計財政状況」より

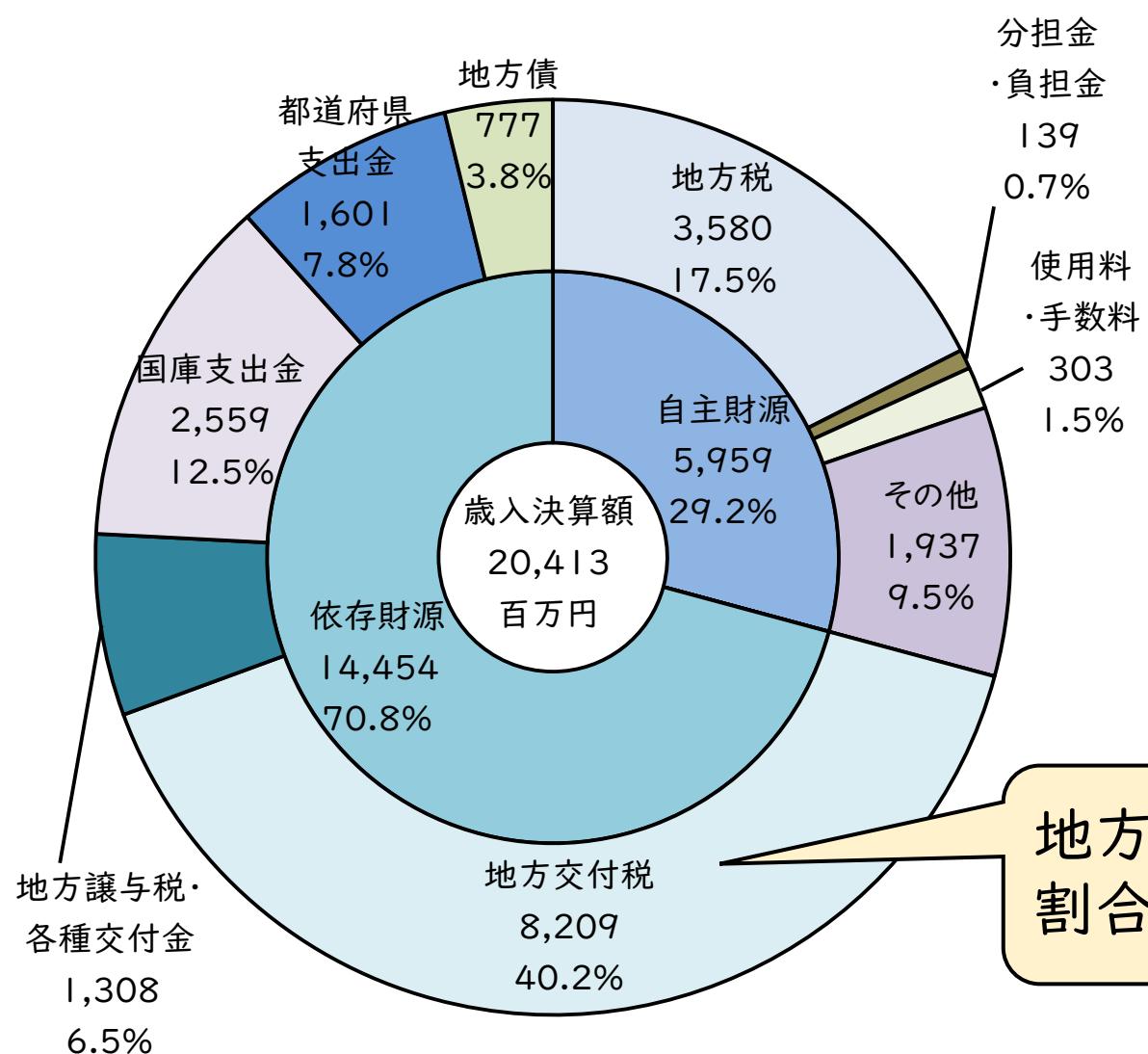
決算規模の推移



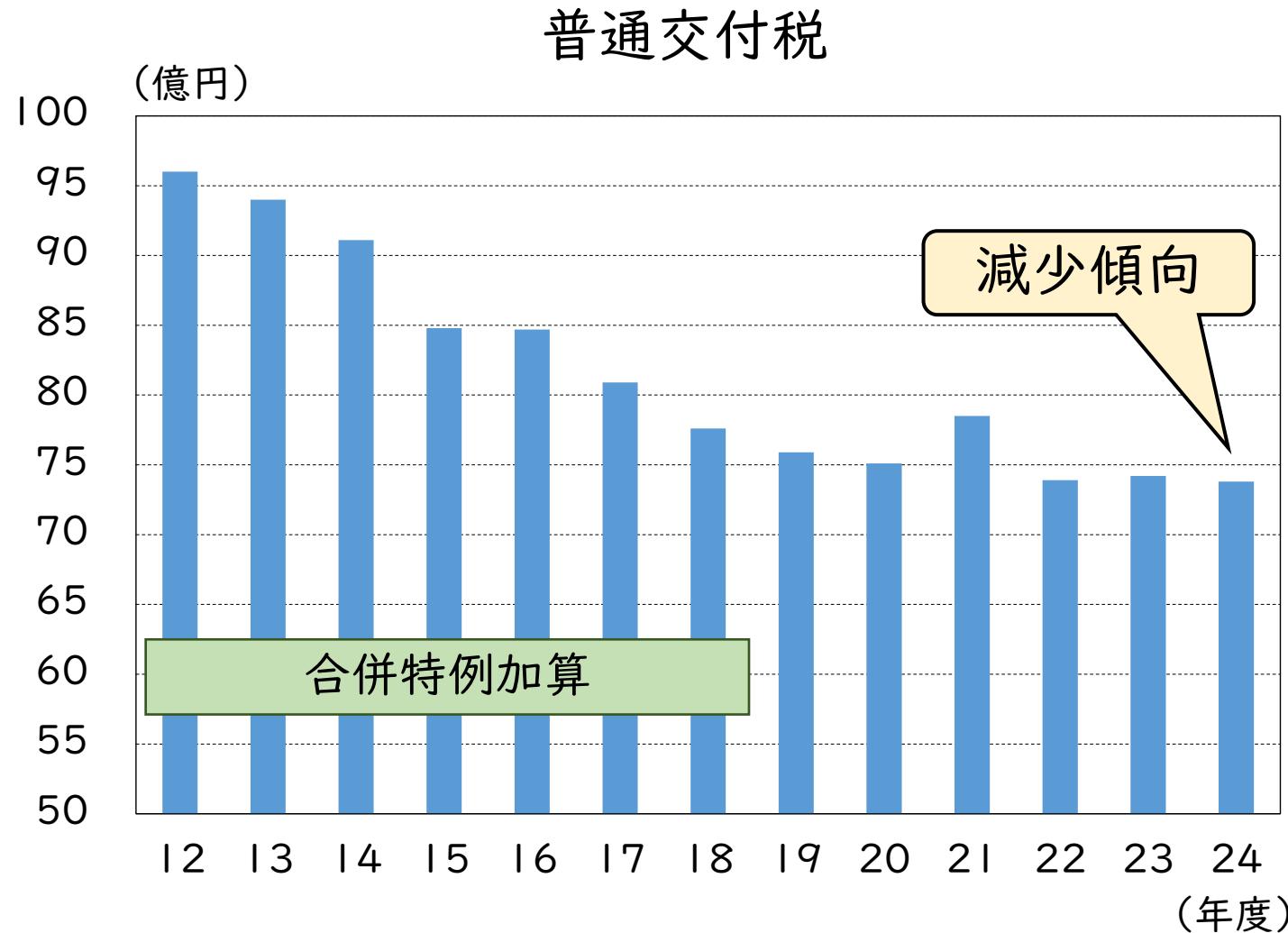
歳入(1年間の収入)の状況

2024年度
普通会計決算

(単位:百万円、%)



普通交付税の推移

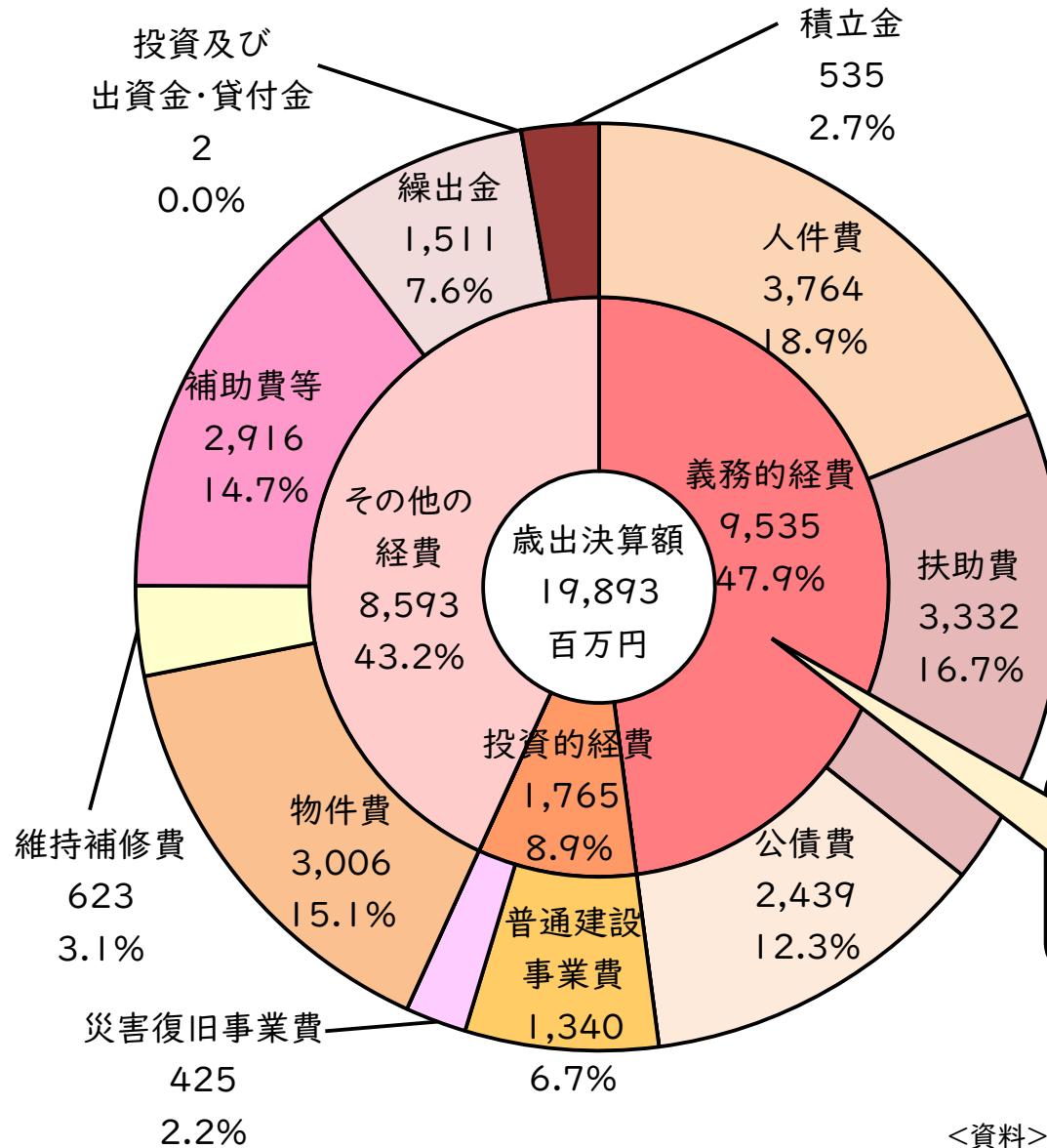


普通交付税の合併特例加算とは、合併した地方公共団体が一定期間、合併前の市町村がそれぞれ存在していたものとして計算した普通交付税を受け取れるようにする仕組みです。

歳出(1年間の支出)の状況

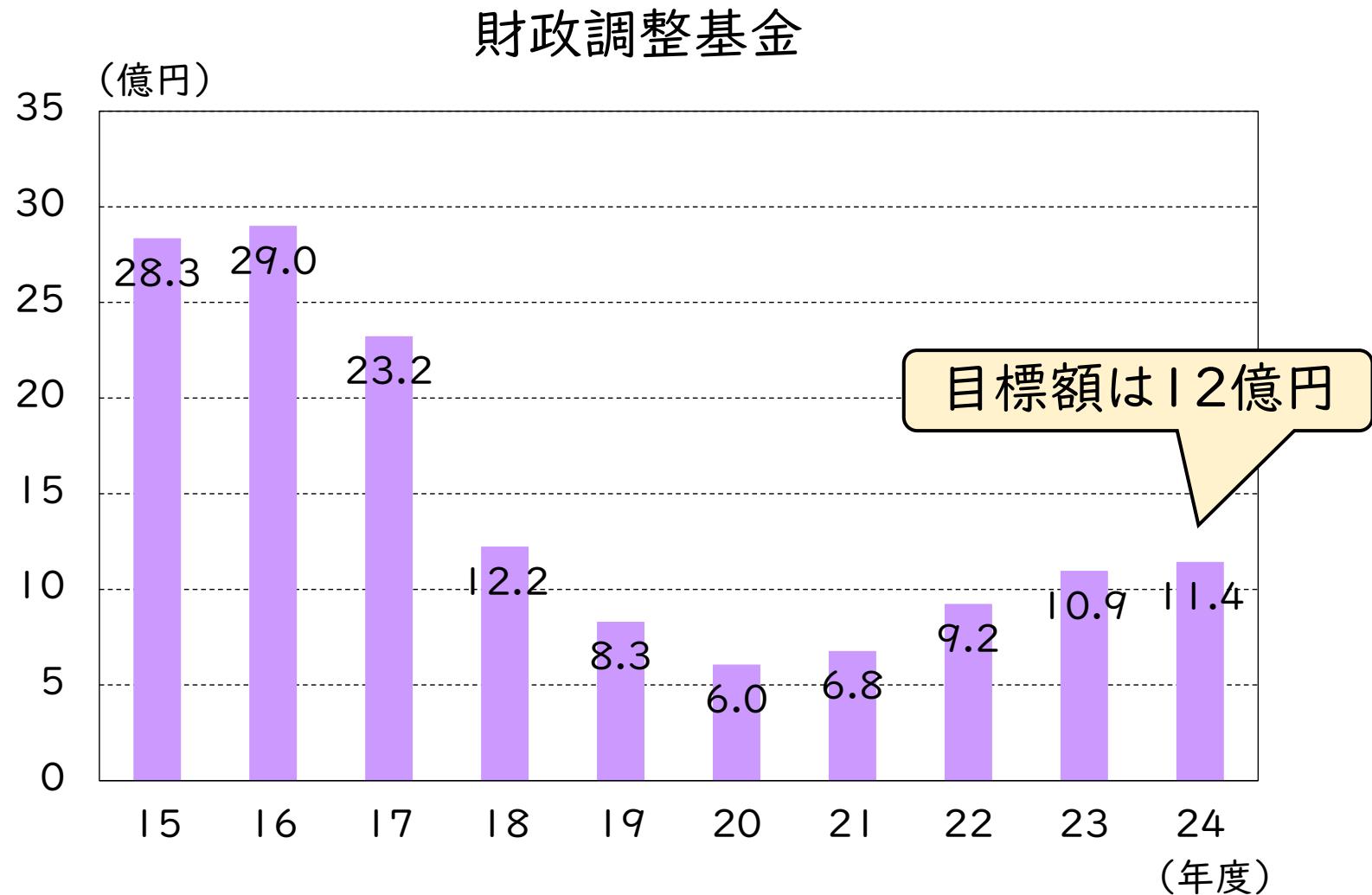
2024年度
普通会計決算

(単位:百万円、%)

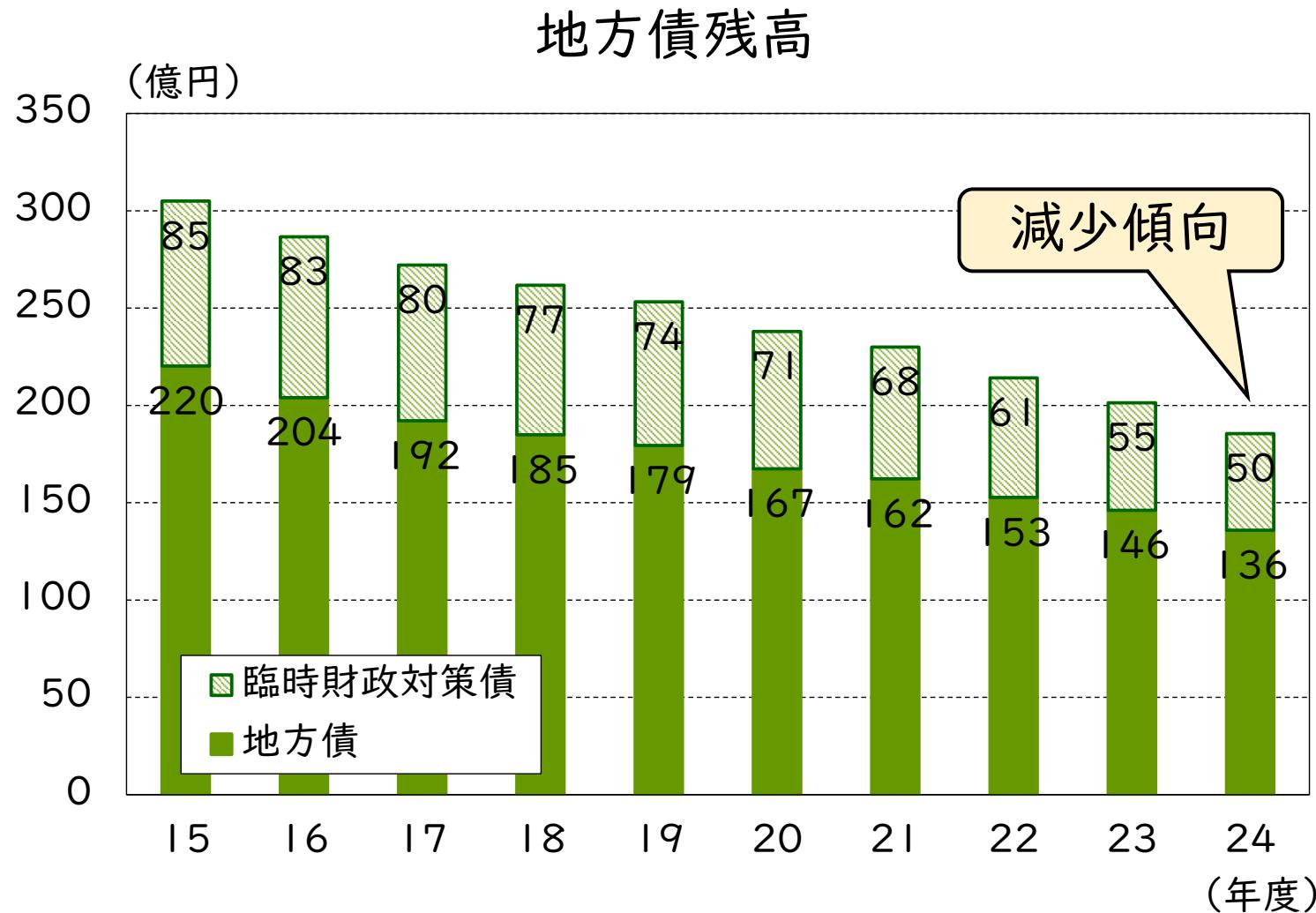


義務的経費の
割合が高い

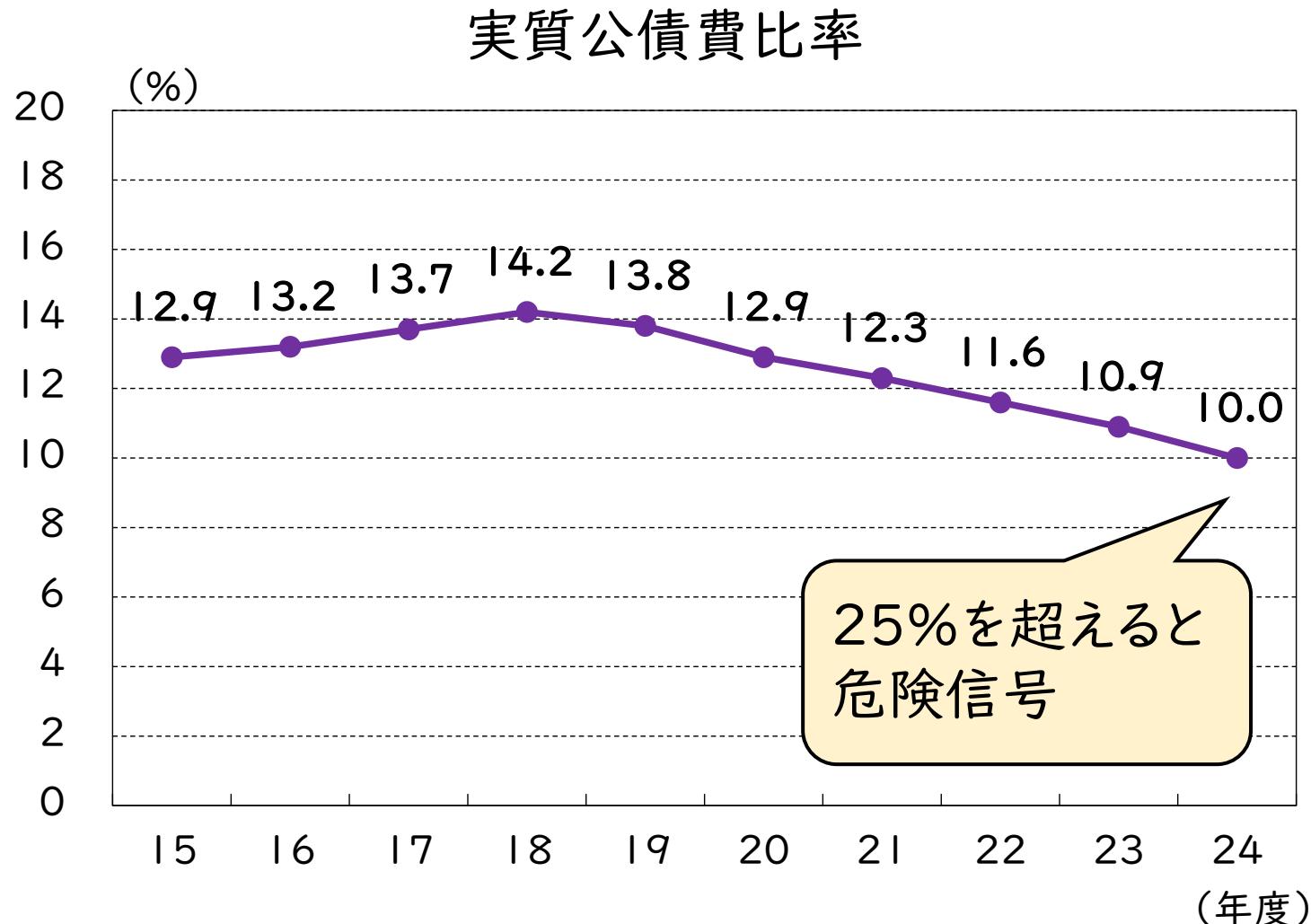
積立金残高の状況（貯金はどれくらい）



地方債残高の状況（借金はどれくらい）

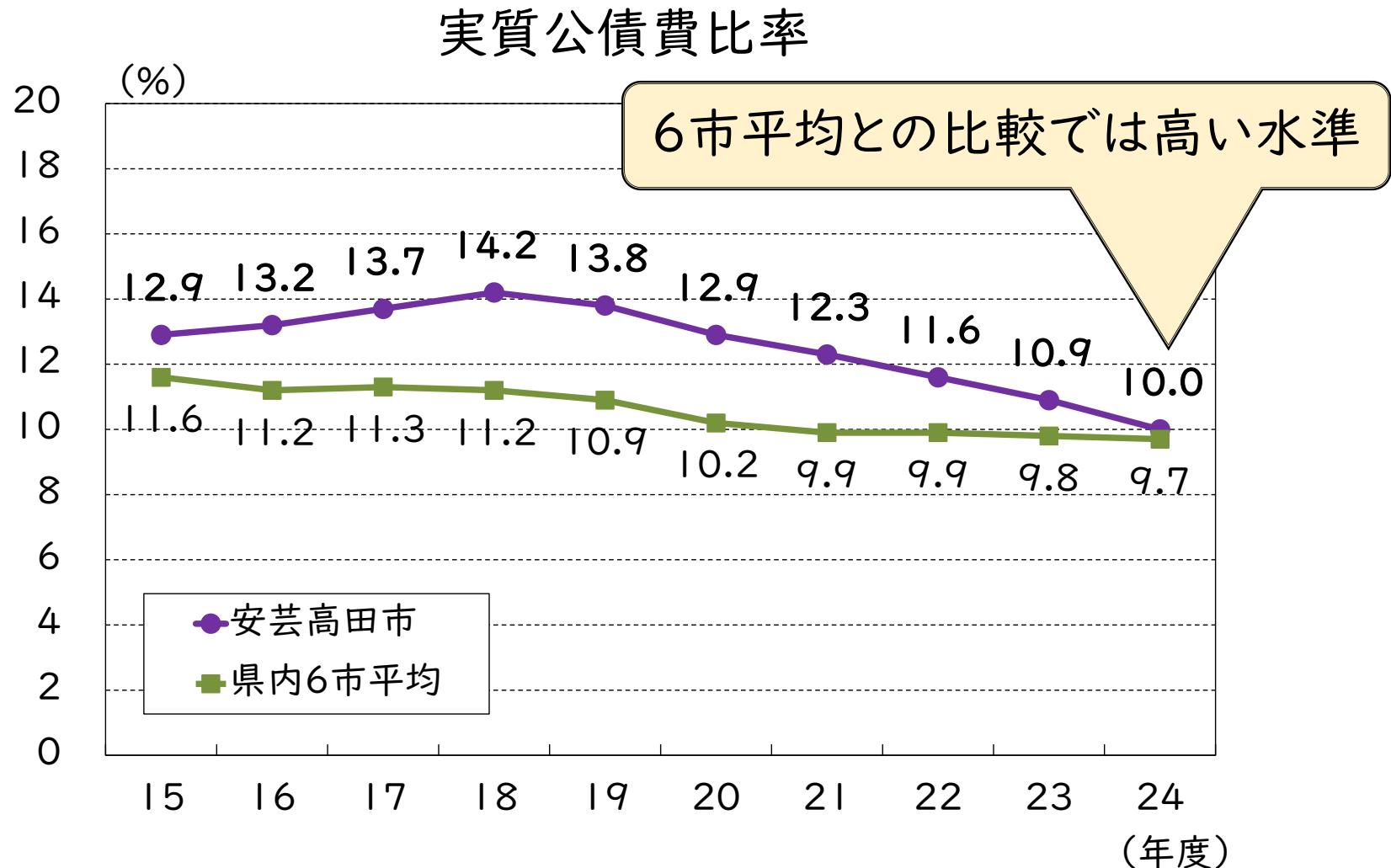


借金は多いそれとも少ない



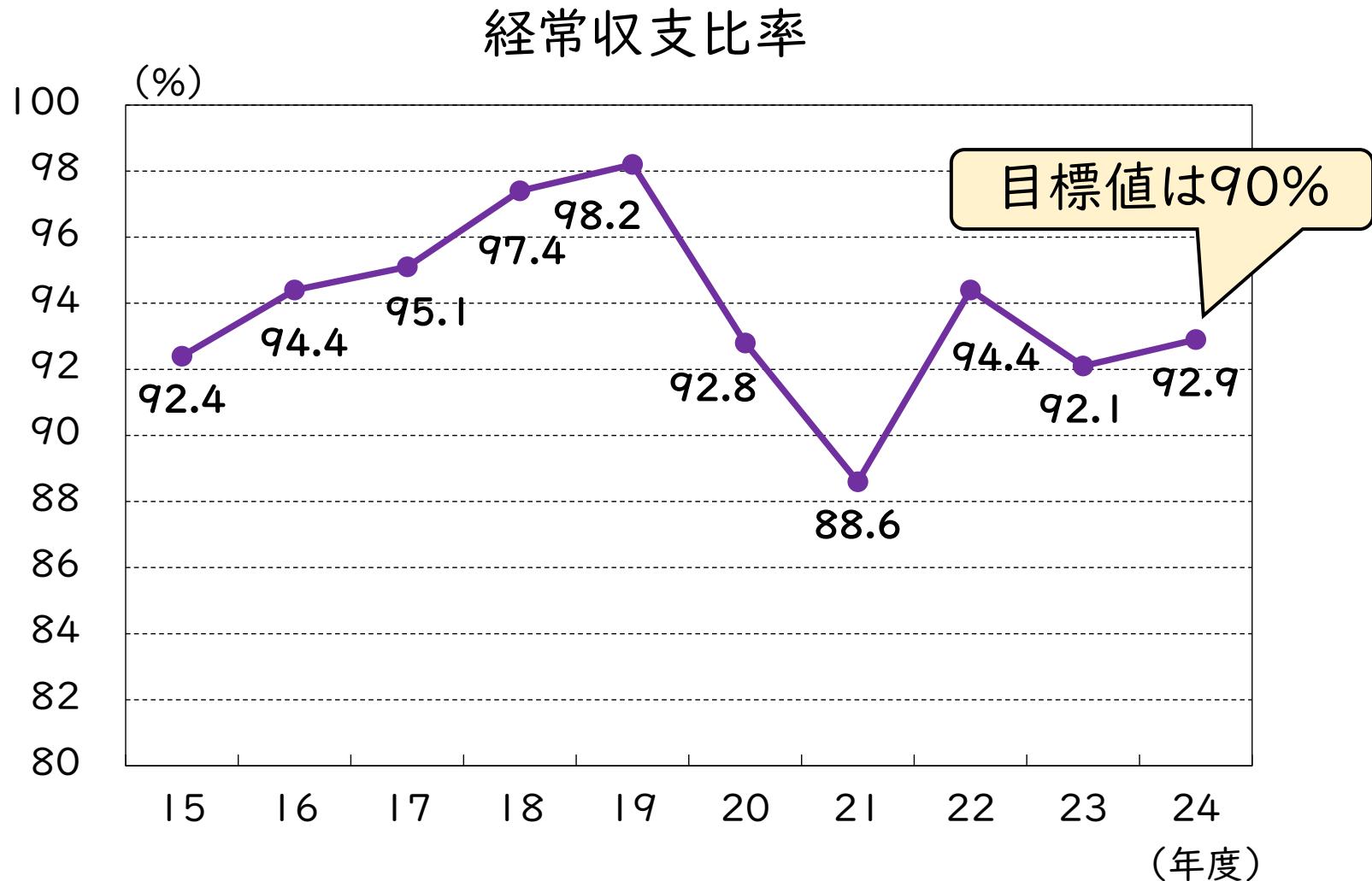
実質公債費比率とは、収入に対して借金の返済額がどの程度の割合になるのかを示すものです。

実質公債費比率(県内6市比較)



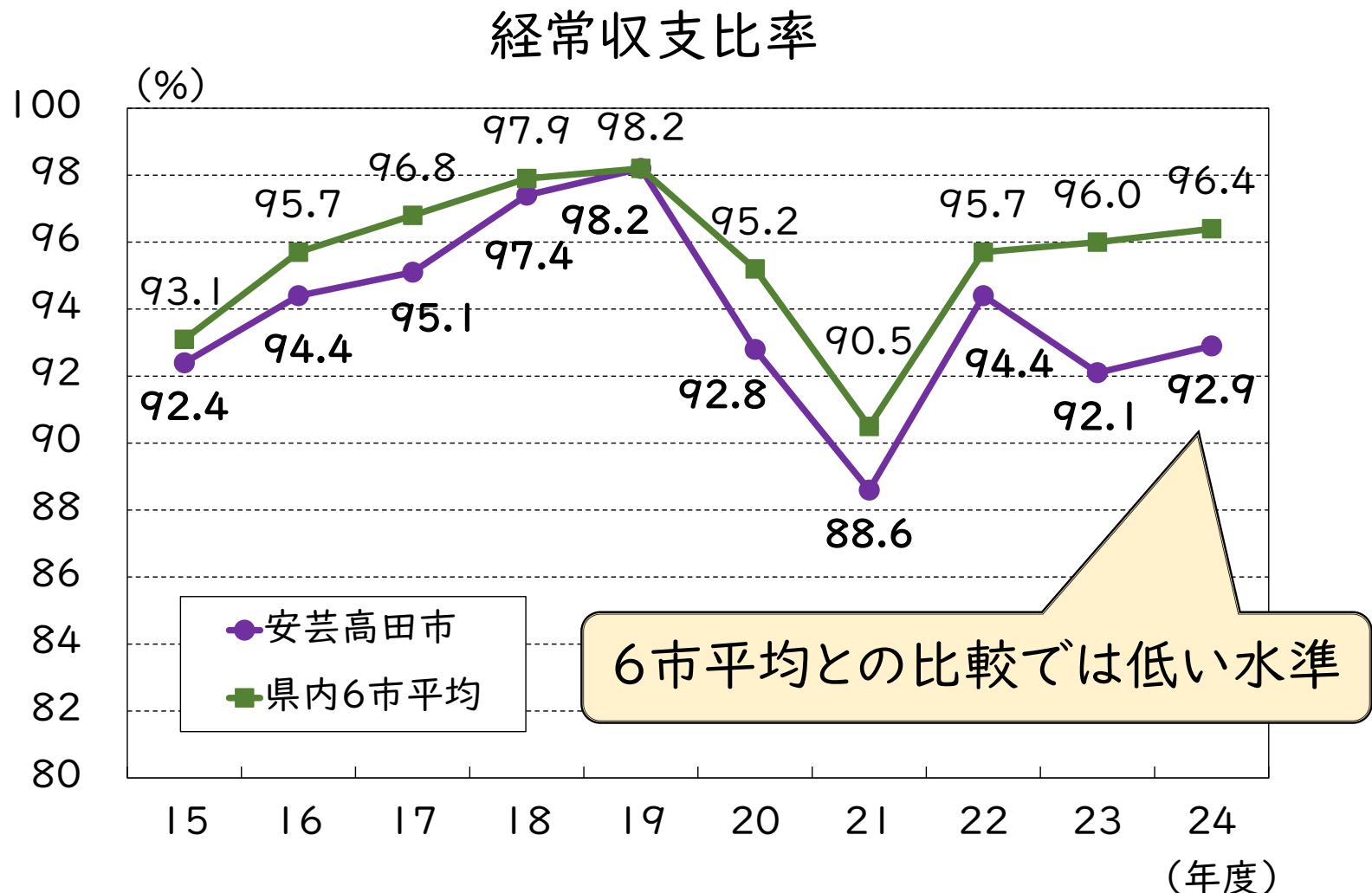
県内6市は、安芸高田市、大竹市・竹原市・江田島市(人口類似市)、三次市・庄原市(近隣市)です。

財政状況



経常収支比率とは、経常的な収入が、どの程度経常的な支出に使われているかを示すものです。この割合が高いほど、自由に使えるお金が少ないことになります。

経常収支比率(県内6市比較)



県内6市は、安芸高田市、大竹市・竹原市・江田島市(人口類似市)、三次市・庄原市(近隣市)です。

第3次安芸高田市総合計画

第3次総合計画の概要（Ⅰ）

総合計画とは

総合計画とは、市が取り組む「まちづくり」の最上位に位置する計画で、行政運営の総合的な指針となるものです。

総合計画は、基本構想と基本計画により構成し、安芸高田市が目指す将来像と、将来像の実現のための政策目標、さらに政策目標を実現するための施策目標等を記載しています。

計画の構成と期間

第3次安芸高田市総合計画は、基本構想、基本計画に加えて、安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を重点プロジェクトとして位置付け、一体的に作成します。

基本構想の計画期間は2025年度から2044年度までの20年間、基本計画（重点プロジェクト含む）の計画期間は4年間とし、基本計画は社会経済情勢や計画の進捗状況等を踏まえて4年ごとに見直していきます。

第3次総合計画の概要(2)

第3次安芸高田市総合計画

基本構想－期間:20年－

総合計画の最上位に位置し、総合的かつ計画的な行政運営を図るために定める基本的な構想

2025-2028

基本計画
－期間:4年－

市政の基本的な計画であり、基本構想を踏まえた施策の基本的な方向・体系・重点プロジェクトを示すもの

人口減少対策、地方創生の取組を位置付ける計画

安芸高田市
まち・ひと・しごと
創生総合戦略
(重点プロジェクトとして位置付け)

総合戦略
－4年－

2029-2032

2033-2036

2037-2040

2041-2044

前期計画を検証しながら作成

第3次総合計画基本構想 基本理念(Ⅰ)

基本理念の内容

第3次安芸高田市総合計画は、「皆で力を合わせれば、何事も成し得る」という意味を込めた【百万一心、未来へつなぐ安芸高田市】(注)をまちづくりに係る普遍的な考え方として、基本理念に位置付けます。

そして、以下に示す3つの視点から、基本理念の具体化を図ります。

【視点①誰がつないでいくのか】

安芸高田市民と市に関わる多様な人々

【視点②誰につないでいくのか】

20年後の世代(子や孫たち、市に関わる多様な人々)

【視点③何をつないでいくのか】

世代を超えて共通する安芸高田市らしさ

注:百万一心は「一日一カ一心」とも読めることから、毛利元就が、「日を同じうにし、力を同じうにし、心を同じうにする」と一致団結の大切さを教えたものとして伝わっている言葉。

第3次総合計画基本構想 基本理念(2)

“視点①誰がつないでいくのか”については、安芸高田市に定住する市民に加えて、安芸高田市に興味・関心・愛着を持ちながら、市に関わる多様な人々と定義します。

“視点②誰につないでいくのか”については、第3次安芸高田市総合計画基本構想の計画期間が20年であることを踏まえて、20年後の世代（子や孫たち、市に関わる多様な人々）と定義します。

“視点③何をつないでいくのか”については、社会経済情勢や価値観の変化にも影響されない、世代を超えて共通する安芸高田市らしさと定義します。

基本理念や3つの視点に基づく中長期の理想の状態を、安芸高田市が目指す20年後の将来像として位置付けます。

第3次総合計画基本構想 将来像(Ⅰ)

将来像の内容

将来像の設計結果に基づき、安芸高田市の将来像を以下のとおり位置付けます。

●将来像－安芸高田市らしさの伝承－

「歴史から見る安芸高田市らしさ」を参考に、各団体等へのヒアリング、子育て世代を対象としたワークショップ、市民アンケート調査、安芸高田市の未来を考えるシンポジウム「安芸高田市のまちの未来を若者と語る日」等の結果より、「受け継いでいきたい安芸高田市らしさ」として、以下の特長を見出すことができました。

- ・多様な地域、人材・価値観がとけあうまち
- ・若者を始め、多くの市民の新たなチャレンジが芽吹くまち
- ・お互いの生き方や価値観を尊重し、対話の中で解決や決定がおこなわれるまち

市に関わる多様な人々の価値観を肯定的関心を持ってとらえ、合意形成を図り、行動することで次の展開に進み、それを周りの人に共有していくことが、安芸高田市らしさの伝承につながります。

第3次総合計画基本構想 将来像（2）

●将来像－新しい可能性を生む・まちの魅力を育む機能の強化－

市民アンケート調査結果より、20年後の未来、安芸高田市では「道の駅『三矢の里あきたかた』」の機能・サービスを強化すべきと回答する市民の割合が高いことが明らかです。

道の駅をはじめとして、まちの魅力を育む機能の強化を図り、地域内外の交流を生み出し、新たな賑わいを生み出していくきます。

●将来像－守っていきたい地域の暮らしの機能の維持・確保－

市民アンケート調査結果より、20年後の未来、安芸高田市では「医療・診療施設」、「公共交通（鉄道・バス）」を残していくべきと回答する市民の割合が高いことが明らかです。

地域の暮らしを守っていくために、市民との合意形成を図りながら医療・移動手段等の生活する上で必要不可欠な機能の維持・確保を目指します。

第3次総合計画基本構想 目標指標・目標値

基本理念

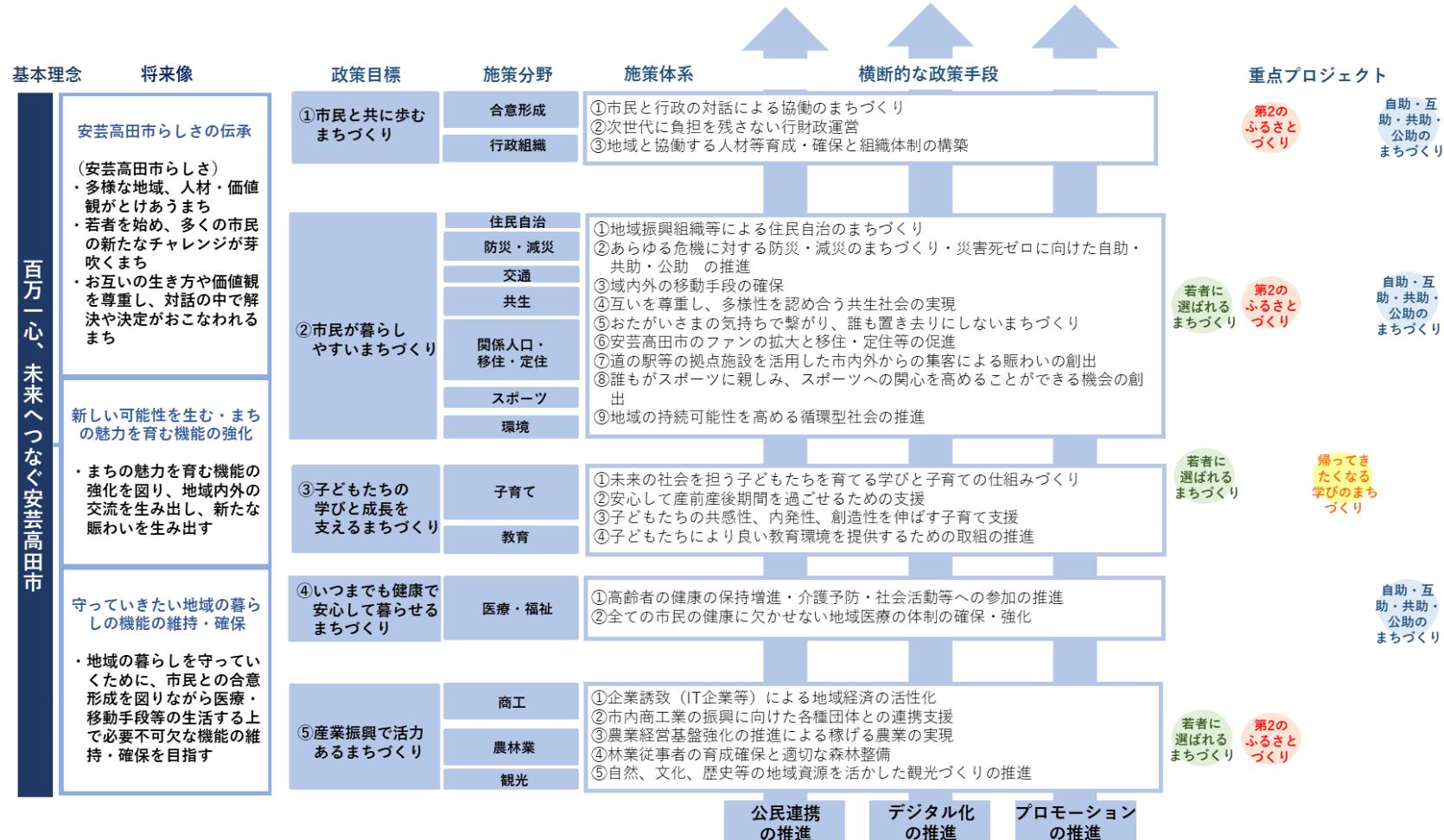
区分	目標指標	現況値		目標値	
		年度	値	年度	値
百万一心、 未来へつなぐ安芸高田市	① 市民の幸福度	2024	6.5点	2045	現況値以上

将来像

区分	目標指標	現況値		目標値		
		年度	値	年度	値	
安芸高田市らしさ の伝承	② 地域への愛着度	2024	50.4%	2045	現況値以上	
	③ 新たなことに挑戦・成長する機会	2024	5.1%	2045	現況値以上	
	ヤソ ピ一 タシ ルヤ のル 充・ 実キ	④ ネットワーク (地域振興組織への参加率)	2024	54.9%	2045	現況値以上
		⑤ 信頼 (同じ集落に住む人たちを信頼)	2024	59.7%	2045	現況値以上
		⑥ 行動規範 (困ったときに相談できる人の存在)	2024	39.0%	2045	現況値以上
必要な 機能	新しい可能性を生む・ まちの魅力を育む機能 の強化	⑦ 地域経済循環率	2018	80.5%	2045	85.0%以上
		⑧ 産業の付加価値額	2021	425万円/人	2045	430万円/人
		⑨ 観光客数	2023	226万人	2045	250万人以上
		⑩ 安芸高田市外からの就業人口	2020	4,018人	2045	3,000人以上
	守っていきたい地域に とつての暮らしの機能 の維持・確保	⑪ 定住人口	2024	2.4万人	2045	1.8万人以上
		⑫ 農業産出額	2022	47億円	2045	現況値以上

第3次総合計画基本構想 政策・施策体系

第3次安芸高田市総合計画基本構想の基本理念・将来像の実現に向けて、第3次安芸高田市総合計画基本計画では、以下に示す政策・施策体系を位置付けます。第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を重点プロジェクトとして位置付け、人口減少対策、地方創生の取組を推進します。



パブリックコメントのご案内

パブリックコメントを 実施します

第3次安芸高田市総合計画
策定に向けた意見を募集
します。



応募方法や
時期についての
詳細はこちら

本日ご提示しているパブリックコメント
(意見公募)に関する資料

- 第3次安芸高田市
総合計画基本計画
- 第3次安芸高田市
まち・ひと・しごと創生総合戦略

意見交換